

学校運営協議会 議事録

校名	府立 守口支援 学校
校長名	青木 康子

開催日時	令和 6 年 2 月 20 日 (火) 15 : 15 ~ 16 : 30
開催場所	府立守口支援学校 2階 図書室
出席者(委員)	長谷川 陽一会長(桃山学院教育大学教授)、佐々木 幸子副会長(守口市教育センター長)、森口 久子委員(学校医)(欠席)、盛田 昭一委員(錦コミュニティ協議会会長)、東 恵美委員(門真公共職業安定所統括職業指導官)、藏満 翔子委員(PTA会長)
出席者(学校)	青木校長、古賀教頭、田鶴谷教頭、小枝事務長、下田首席、西川首席、永山首席、坂上高等部主事、南中学部主事、柏原小学部主事代理、堀川健康安全部長、築山進路指導部長、安藤支援自立活動部長、室田研究推進部長、寺村養護教諭
傍聴者	0名
協議資料	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度学校教育自己診断 ・令和5年度学校経営計画の総括と今後の課題(各分掌報告含む) ・令和6年度学校経営計画
備考	

議題等(次第順)

- 1 学校長挨拶
- 2 学校運営協議会会長挨拶
- 3 令和5年度学校教育自己診断集計結果報告
- 4 令和5年度学校経営計画の総括と今後の課題について
- 5 令和6年度学校経営計画について
- 6 各学部等からの教育活動報告
- 各学部教育活動等報告
 - 小学部：児童会活動、学部集会 等
 - 中学部：交流活動 等
 - 高等部：芸術教育推進について
クラブ活動について 等
- 学校紹介動画について
- 30周年式典PTについて
- 7 質疑・協議等
- 8 学校長挨拶
- 9 諸連絡

協議内容・承認事項等(意見の概要)

- 3、首席より説明。
 教員については今年度はフォーム作成ツールで実施し、回収率は100%だった。保護者は69.3%だった。今後も提出しやすい形を検討して回収率を上げたい。教員は目標数値を設定した全ての項目で達成している。肯定的な意見が多い。保護者からは、厳しい意見もあった。目標数値を設定した項目のうち3つが達成できず、課題として残った。次年度は保護者への周知徹底を重点的に取り組んでいきたい。
 記述式の意見コーナーでは、「先生の人数が少ない」「紙ベースの共有が不便を感じる」「文字だけで共有するのはもったいない」などの意見があった。
 「子どものことをわかってもらえてトラブルなく通わせて感謝している」など肯定的な保護者からの意見もあった。
- 4 校長より説明。
 第2回目でも伝えた通り、自己評価の欄も順調に進んでいる。各業務の役割を明確にしたことが一因になったのではと考えている。学校教育自己診断でもあった通り評価数値についても概ね達成できた。
- 5 校長より説明。
 学校教育自己診断の結果を受けて1～5の5点を含めて計画。今年度新しい取り組みもあったが、来年度は引き継ぐ形で改善を求める。ヒアリングで加筆修正もあるかと思うが、「防災への取り組み、備え」「不登校児への対応」も考える必要があると考えている。キャリア教育の推進としては充実した内容を来年度は進めていきたい。
- 6 各学部等からの教育活動報告
 【古賀教頭】
 長期欠席児童生徒への取り組みについて

○質疑応答（事前集約を基に）

Q（森口委員）：危機管理について アレルギー対応できているか？

A（寺村養護教諭）：

- ①保護者よりアレルギー児童は学校生活管理指導票を提出してもらっている。
- ②提出後は保護者から詳細を聞き取り、個別の取り組みプランを作成し、給食の献立を決めている。食材が偏らないように、事故が起きにくい環境を整えるという点から月初めに確認している。
- ③保護者にも確認してもらっている。
- ④チェック後、担任で確認し、食物アレルギー対応委員会でも確認。
- ⑤全校教職員で確、周知し、事前に事故を防止している。
- ⑥複数担任でアレルギー児童生徒の給食を確認。

本校では除去対応食はしていない。保護者から代替食を用意してもらっている。

（長谷川委員）：5、6番目の対応は大事。ヒューマンエラーは起こる。ダブルチェックは欠かせない。引き続きお願いしたい。想定外で起こった時の対応についてもシミュレーションしていただくとありがたい。

Q（森口委員）：当校が福祉避難所になる可能性はどれくらいか？

A（健康安全部 堀川教諭）：本校は避難所としては設定されていない。地域では錦小学校が設定されている備蓄品は本校生徒と、教職員の分のみ準備。非常食は、水、白米二日分、生徒の家庭から1日分の非常食を用意してもらい非常時に備えている。現在、回収率は全校で83%となっている。100%をめざして声掛けをしていく。

P T Aで備蓄食の試食会も実施。アンケートを参考に購入内容などを決めていきたい。

（古賀教頭）：地域の福祉避難所は6か所ある。施設に関しては卒業生も利用している。災害時ここに行くわけではなく、地域の避難所に避難してから福祉避難所に割り振られる。

保護者とも共有していく。

森口委員からのご意見

- ・教員のメンタルヘルスについて昨年同様研修の場で話し合う機会を是非持って頂きたい。
- ・先生方の本分は授業で生徒と向い合うことです。細かな仕事は是非サポートスタッフに委託する事を皆で実践しましょう。

（田鶴谷教頭）：教員メンタルヘルスについてR5年度夏休み期間に研修で実施。実りある研修だった。来年度も実施予定。サポートスタッフについては、今年度まで人員がもらえていたが来年度からなくなってしまう。補助員などができる活動を考えながら取り組んでいきたい。

（長谷川委員）：学生ボランティアなどで教育活動の支援ができたらと思う

○学校経営計画についての協議

（長谷川委員）：子どもの人権を大切に指導・支援を進めていることに安心する。愛情がベースであっても結果的に本人、保護者の不安を感じさせる形になることもある。セルフチェックをしていくことも大事。

令和6年度の学校経営計画については承認された。

次回の会議日程

日時	令和 6 年 7 月 10 日 (水) 15 : 30 ~
会場	府立守口支援学校 2階 図書室